

Unify DataServer Release 9 (Unix) インストールガイド

インストールの前に

- ・ 本リリースをインストールし動作させるには、商品のダウンロード及びライセンスキーが必要ですので、インストールを行う前にサポートセンタよりライセンスキーを取得してください。
インストールの際ソフトウェアのライセンス付与で、以下の情報の入力が必要となります。
シリアル番号：
ホスト名：
ライセンスキー：
- ・ 本リリースをインストールするには、添付のリリースノートに記載されたディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。

Unify DataServer のインストール

CD-ROM からインストールを実行する手順と、ハードディスクにリリースファイルを読み込んでからインストールを実行する手順は異なりますので、各インストール手順を参照して、作業を行ってください。なお、作業はスーパーユーザで実行します。

ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは弊社サポートセンタまでご連絡下さい。

CD-ROM からインストールを実行する手順

以下は、CD-ROM から直接インストールを行う場合の実行手順です。

Step 1

CDメディアを挿入した CD-ROM をマウントして下さい。その後、CD-ROM のリリースのルートディレクトリに移動します。

[例]

```
# cd /cdrom/cdrom0
# ls (DataServer の場合)
    bin      conv      diag      include   install   lib
```

Step 2

/usr/unify ディレクトリを作成し、パーミッション 777 を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
# mkdir -m 777 /usr/unify
```

Step 3

インストール・ユーティリティを実行します。

```
# install/install
```

Step 4

以下のメッセージが表示されます。y を入力してください。

```
The directory /cdrom/xxxxxxx is not writeable.
```

```
Do you want to copy the release to a different location <y/n> y
```

Step 5

リリースをインストールするディレクトリ名 (例 **/home/ds**) を入力します。

```
Enter the destination (target) directory.
```

```
If the directory does not exist, it will be created for you.
```

```
Target directory:
```

```
/home/ds
```

Step 6

指定したディレクトリが存在しない場合は新規に作成されますので、y を入力してください。

```
The target directory /home/ds does not exist.
```

```
Do you want to create it <y/n>? y
```

指定したディレクトリが既に存在する場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルが削除され、インストールが続行されます。削除しても問題が無い場合は、y を入力してください。削除すると問題がある場合は、n を入力しインストールを中断します。必要なファイルをセーブした後で再度インストールを初めから実行してください。

```
The target directory /home/ds already exists.
```

```
WARNING: All files will be removed from /home/ds !
```

```
Do you want to continue the installation <y/n>?
```

Step 7

CD-ROM より、リリースファイルがハードディスクにコピーされます。

```
Source Directory: /cdrom/xxxxxxx
```

```
Target Directory: /home/ds
```

```
Install is now copying XXX files from the unwriteable directory.
```

```
This may take a while. A dot will be printed for each file copied
```

install ユーティリティは、インストールディレクトリに `installmsgs` という名前のファイルを作成します。`installmsgs` ファイルは、インストール中の進捗や状況に関するメッセージを記録します。インストール完了後、このファイルでインストールの結果を確認することができます。

Step 8

以下のメッセージが表示されます：

INSTALLATION

Unify Corporation Products

Release 9.0

(c) 1986 - 2006, Unify Corporation.

All rights reserved.

Installing the following product(s):

DataServer 9.0G

Conventions used and general information:

- 1) User input is obtained by both menus and prompts. Prompted input always offers a default input value (in square brackets []); Menus always offer an exit. All input must be followed by a carriage return.
- 2) In general, if a task cannot be completed, you will be given the option of either continuing or terminating installation.
- 3) This utility is interruptible.
- 4) This utility can be rerun at any time.

Press <return> to continue installation, or 'x' to exit [<return>]:

Step 9

Return キー を入力してインストールを開始します。

Step 10

その後、プロダクトライセンスオプションを選択するプロンプトが表示されます。

Beginning installation on 2006 年 10 月 28 日 土曜日 14:57:48 JST.

Beginning release files check for DataServer 9.0G:

Release files check successful.

Product Licensing

Select one of the following licensing options:

- 1) Enter license information now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Push OS shell.
- 4) Terminate installation.

Selection:

ライセンスファイルを作成するために /usr/unify ディレクトリへの書き込み権限が必要です。

Step 11

オプション 1 を選択した場合は、プロンプトからライセンス情報を入力して下さい。
その後表示されるライセンス入力情報に間違いが無ければ 'y' を入力します。

Enter your license information by choosing option 1 and answering the prompts:

Selection: 1

Enter your serial number ('s' to skip license):xxxxxx

Enter your license key ('s' to skip license): xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

License key entered:

Serial : xxxxxx

License Key : xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

Do you want to use these license values? ([y]/n) y

ライセンスキー情報の確認後、ライセンスキー値は \$UNIFY/license.key ファイルに書き込まれ、また /usr/unify にもライセンス関連のファイルが作成されます。

Step 12

製品のライセンスに成功したら、以下のメッセージが表示されますので、Return キー を入力してインストールを続けます。

Product licensing procedure successful.

Press <RETURN> to continue...

Step 13

続いて以下のプロンプトが表示されますので、日本語のキャラクタセットを選択する場合は、1 (EUC) もしくは 2 (SJIS) を選択して下さい。Return キーのみを入力した場合は、英語のキャラクタセットが選択されます。

Please specify the default character code set. If either of the Japanese code sets are required,

enter 1 for EUC or 2 for SJIS. Otherwise, enter 0 ([0:others]/1: EUC/2: SJIS)

[0:Others, 1:EUC, 2: SJIS]:

Step 14

続いて以下のプロンプトが表示されますので、データベースが使用するデフォルトの共有メモリーキーを入力して下さい。

Beginning master configuration file 'unify.cf' customization...

Enter a default shared memory key ([6904])

[]内に示されたデフォルトの値を Return キーのみを入力して使用するか、別のユニークな値を入力して下さい。install ユーティリティは、\$UNIFY/unify.cf ファイル中の SHMKEY として、この共有メモリーキーをインストールします。 入力する数値は、10 進数表記の 1234 か、16 進数表記の 0x1234 のように入力します。

Step 15

続いてオプションの機能をインストールする opts.install ユーティリティを実行するための以下のメッセージが表示されます。オプションを使用しない場合は n を入力してください。

Product Option installation

Do you want to run the utility 'opts.install' at this time? (y/[n])

'n'を入力すると、opts.install ユーティリティの機能無しでインストールが継続されます。

Not running 'opts.install'. Installation continuing...

オプションの機能をインストールする場合は'y'を入力します。このオプション機能は、Unify DataServer のファイルタイプ情報、PAM セキュリティ情報、ACCELL/SQL のオプションを含みます。オプションのインストールを実行するユーティリティの名称は opts.install です。

DataServer 9.0G - Product Options Main Menu

- 1) Install ACCELL/SQL GUI default X resource files
- 2) Install ACCELL/SQL filetype entries for the OpenWindows File Manager
- 3) Install DataServer file magic information in /etc/magic
- 4) Install Dataserver PAM security information in /etc/pam.d
- x) Exit

Selection: 4

オプション 1)、オプション 2)は ACCELL/SQL のオプション機能なので、ここでは選択しません。Unify

DataServer のオプション機能で、ファイルタイプ情報をインストールする場合はオプション 3)、PAM セキュリティ情報をインストールする場合はオプション 4) を入力します。

** Linux システムに PAM セキュリティを使用している場合は、オプション 4)をインストールします。

Step 16

以下のメッセージが表示されます。y を入力してください。

スーパーユーザでこのインストールを実行していない場合、スーパーユーザのパスワードを入力するプロンプトが続いて表示されます。

```
DataServer PAM security installation option. Note
that this option must be run as superuser. If you
continue, you will be prompted for your system's
superuser password.
```

```
Continue (y/[n])? y
```

Step 17

以下のメッセージが表示されます。y を入力してインストールを続けます。

```
Installing PAM security information in /etc/pam.d.
Enter your superuser password at the next prompt.

Installation of PAM security information complete.

Press <return> to continue.
```

Step 18

install ユーティリティが終了すると、ユーティリティは完了メッセージを表示します。

```
Accell/SQL, Unify DS 9.0
```

```
installation completed on 2006 年 8 月 30 日 水曜日 16:53:06 JST.
```

```
If any errors occurred, examine the file '/home/ds/installmsgs'.
```

インストールディレクトリ/ installmsgs にインストールの一連の状況が出力されますので、インストール中にエラーが発生した際は、このファイルを参照して下さい。

インストール作業は以上です。

ハードディスクにリリースファイルを読み込んでからインストールを実行する手順

以下は、zip ファイルからハードディスクにリリースファイルを読み込んでから、インストールを行う場

合の実行手順です。

Step 1

zip ファイルを、A/SQL をインストールするマシンの任意のディレクトリに展開して下さい。展開したディレクトリがリリースのインストールディレクトリになりますので、展開したディレクトリのルートディレクトリに移動します。

[例]

```
# cd /home/ds
# ls (DataServer の場合)
    bin      conv      diag      include   install   lib
```

Step 2

/usr/unify ディレクトリを作成し、パーミッション 777 を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
# mkdir -m 777 /usr/unify
```

Step 3

インストール・ユーティリティを実行します。

```
# install/install
```

Step 4

以下のメッセージが表示されます：

INSTALLATION

Unify Corporation Products

Release 9.0

(c) 1986 - 2006, Unify Corporation.

All rights reserved.

Installing the following product(s):

DataServer 9.0G

Conventions used and general information:

- 1) User input is obtained by both menus and prompts. Prompted input always offers a default input value (in square brackets []); Menus always offer an exit. All input must be followed

by a carriage return.

- 2) In general, if a task cannot be completed, you will be given the option of either continuing or terminating installation.
- 3) This utility is interruptible.
- 4) This utility can be rerun at any time.

Press <return> to continue installation, or 'x' to exit [<return>]

Step 5

Return キー を入力してインストールを開始します。

Step 6

その後、プロダクトライセンスオプションを選択するプロンプトが表示されます。

Beginning installation on 2006 年 9 月 1 日 金曜日 13:42:27 JST.

Beginning release files check for Accell/SQL, Unify DS 9.0:

Release files check successful.

Product Licensing

Select one of the following licensing options:

- 1) Enter license information now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Push OS shell.
- 4) Terminate installation.

以降の手順は、 **CD-ROM からインストールを実行する手順** Step 10 以降と同様になりますので、 **CD-ROM からインストールを実行する手順** Step 11 をご参照下さい。

ライセンス状況の確認

prlcinf ユーティリティを使って、リリースのライセンス状況を確認して下さい

```
# $ACLDIR/diag/prlcinf
```

```
Unify ACCELL/SQL license info:
```

```
Serial Number: xxxxxx
```

```
Current Host Name: hostname
```

```
Expiration date: 12/31/2020
```

```
License Key Version: 9
```


Installation start date: 8/17/2006
Installation end date: 9/16/2006
Trial License: FALSE
Site License: FALSE
Development Enabled: TRUE
Number of licenses: 8
Runtime License Info (8 licenses):
0 total licenses in use, 8 unused licenses available.
ACCELL/Web Enabled: FALSE

DBIntegrator Product Enabled: TRUE
DBIntegrator Driver Enabled: TRUE
DBIntegrator Server Enabled: TRUE
Number of DBIntegrator licenses: 8
DBIntegrator Runtime License Info (8 licenses):
0 total licenses in use, 8 unused licenses available.

instlic ユーティリティ

インストール後にライセンス許可を行う方法は以下の通りです。

Step 1

コンフィギュレーション変数 UNIFY に DataServer の lib ディレクトリのフルパス名が指定されているか、確認して下さい。

例 : UNIFY = /home/ds/lib

Step 2

/usr/unify ディレクトリに書き込み権限があるか、確認して下さい。

Step 3

\$PATH コンフィギュレーション変数に DataServer /bin ディレクトリのフルパス名が含まれているか、確認して下さい。

例: PATH=\$UNIFY/./bin:\$PATH

Step 4

instlic を開始します。instlic ユーティリティは以下の構文です:

instlic -f filename

-s serial -k key

-f filename filename で指定されたファイルから、ライセンス情報を検索することを指示します。

- s serial 指定されたシリアル番号を使用することを指示します。
- k key 指定されたライセンスキーを使用することを指示します。

-f オプション、もしくは -s/-k オプションの組み合わせのどちらかを使用してライセンスキー情報を指定する必要があります。

Step 5

prlcinf ユーティリティを使用して、リリースのライセンス状況をチェックして下さい。

diag/prlcinf

UPDATE-KIT のインストール

本リリースのインストール完了後、インストール先のディレクトリの下に "UPDATE" という名前のディレクトリが存在する場合は本リリースにはアップデートキットが付いています。

本リリースをご使用前に必ずアップデートキットをインストールして下さい。

アップデートキットのインストール方法につきましては該当するアップデートキット用のリリースノート、または、 "UPDATE"ディレクトリの下での"README.xxxx"(xxxx はバグフィックス番号)をご参照下さい。

以上